

# がん患者のサポートプログラム に関するニーズ調査〈中間報告〉

## がん研究会有明病院

### 患者支援推進委員会 患者・家族サポートワーキンググループ

花出正美	(患者支援センター、看護師長、がん看護専門看護師)
宮城八重子	(患者支援センター、医療ソーシャルワーカー)
杉本香織	(患者支援センター、医療ソーシャルワーカー)
関野礼子	(ATC、副看護師長、がん化学療法看護認定看護師)
濱口恵子	(看護部、副看護部長、がん看護専門看護師)
宇津木久仁子	(婦人科、副部長)
桐明志朋	(病院総務課)



CANCER INSTITUTE HOSPITAL of JFCR  
Patient Support Center

## 背景

2

- ◆ がん患者・家族の悩みや不安の軽減、療養生活の質の向上には、医療者によるサポートのみならず、がん経験者同士による体験の共有が有効
  - ◆ がん研究会有明病院におけるがん患者・家族のサポート
    - 医療サポートチーム(緩和ケアチーム、栄養サポートチーム等)
    - 患者・家族が自由にアクセスできる相談窓口(相談支援センター、専門看護師・認定看護師によるがん看護相談等)
    - サポートプログラム(ガン研療友会、食道発声教室、プロボックスの会、帽子クラブ、Ganken Breast Cancer Support Service、乳房再建研修会、有明婦人科の会等)
      - ⇒がん患者・家族が体験を語り合える場として機能
- 【課題】 がん患者・家族のサポートプログラムに関するニーズに即したサポートのあり方の検討



CANCER INSTITUTE HOSPITAL of JFCR  
Patient Support Center

## ◆ 目的

- ▶ がん研究会有明病院に通院するがん患者のサポートプログラムに関するニーズを明らかにする。

## ◆ 調査方法

- ▶ 対象者 外来通院中のがん患者
- ▶ 調査期間 2012年12月10日(月)~14日(金) 5日間
- ▶ 調査内容
  - ・ "がん経験者の交流の場"の参加経験
  - ・ "がん経験者の交流の場"の設置希望
  - ・ "がん経験者の交流の場"の参加希望
  - ・ 希望する"がん経験者の交流の場"のタイプ
- ▶ 方法 自記式アンケート調査

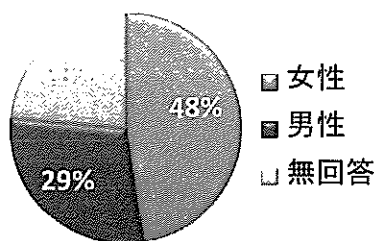


CANCER INSTITUTE HOSPITAL of JFCR  
Patient Support Center

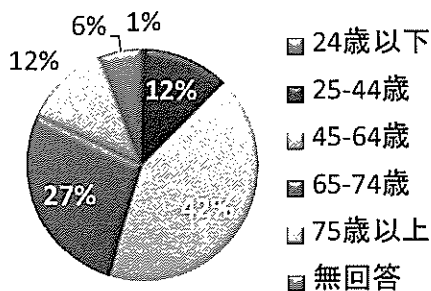
## 結果：対象者の概要

### ◆ 外来通院中のがん患者 4,932人

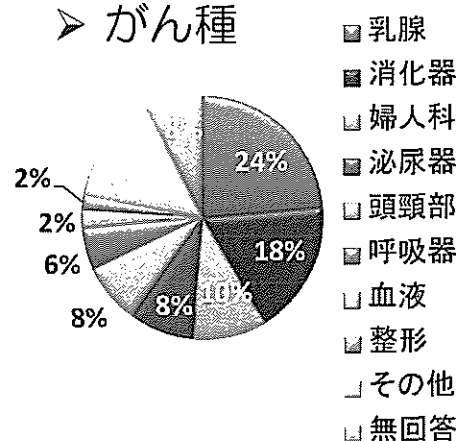
#### ▶ 性別



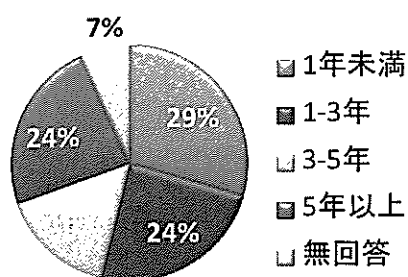
#### ▶ 年齢



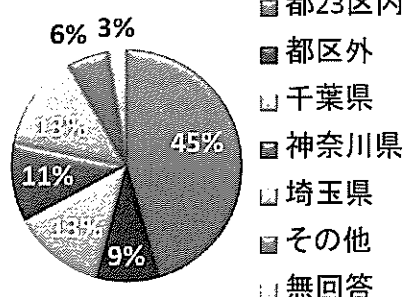
#### ▶ がん種



#### ▶ 通院期間



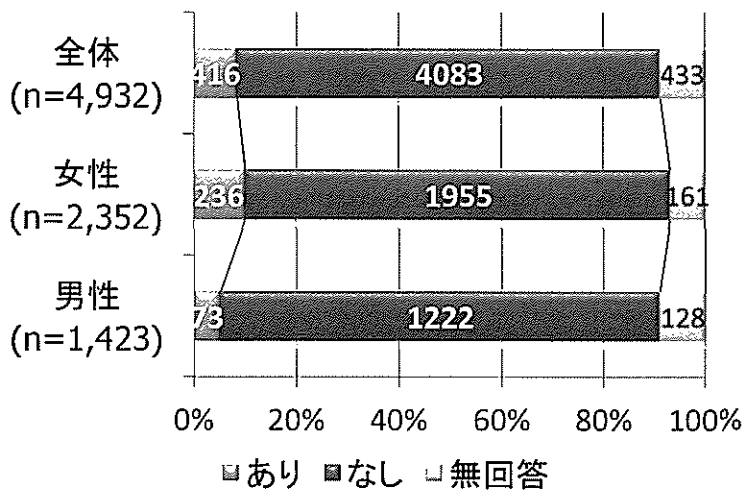
#### ▶ 居住地域



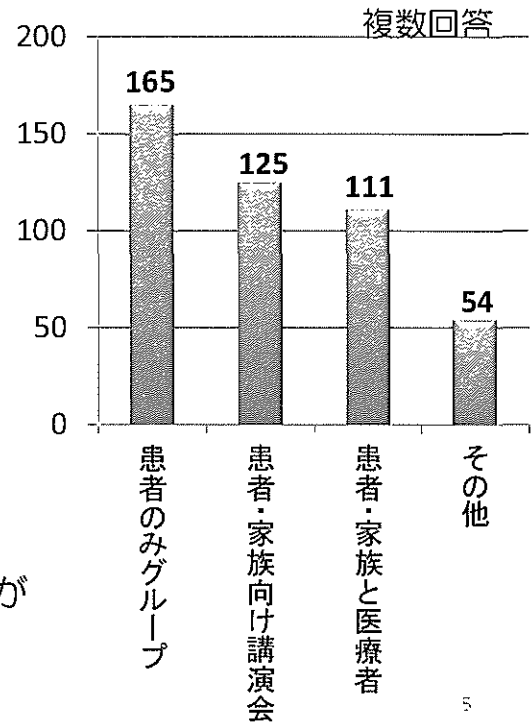
- 約50%が女性
- 40%が45-64歳
- 40%が65歳以上

# 結果：“がん経験者の交流の場”の参加経験

## ◆参加経験の有無



## ◆参加経験がある場 (n=416)

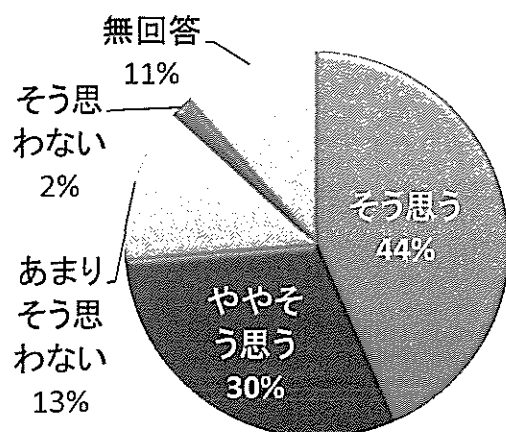


- 過去に“がん経験者の交流の場”の参加経験がある者は8%(女性10%、男性5%)で、「患者のみのグループ」が最も多かった。

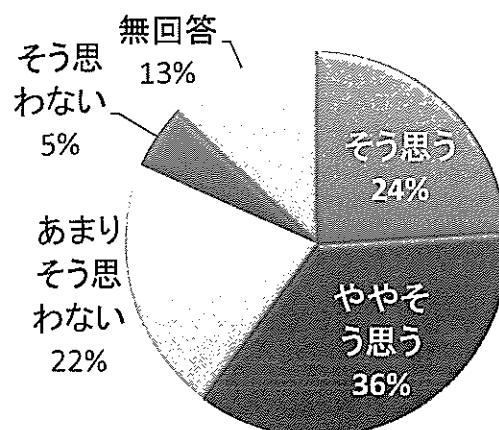
5

# 病院内における“がん経験者の交流の場”の設置希望 と 参加希望

## ◆設置希望 (n=4,932)



## ◆参加希望 (n=4,932)

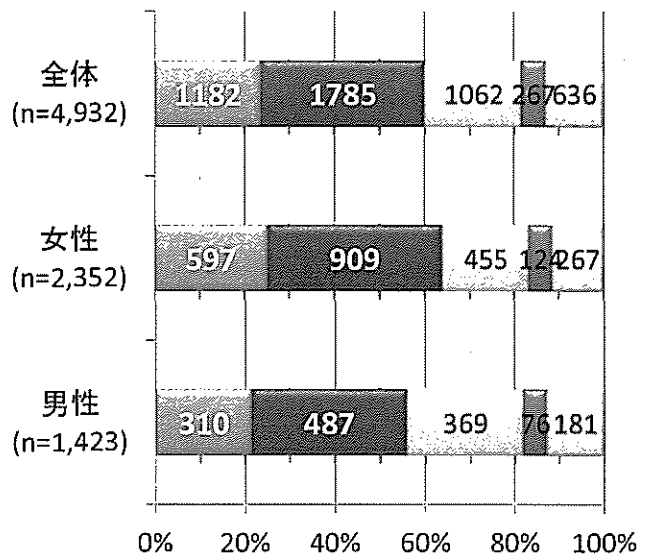
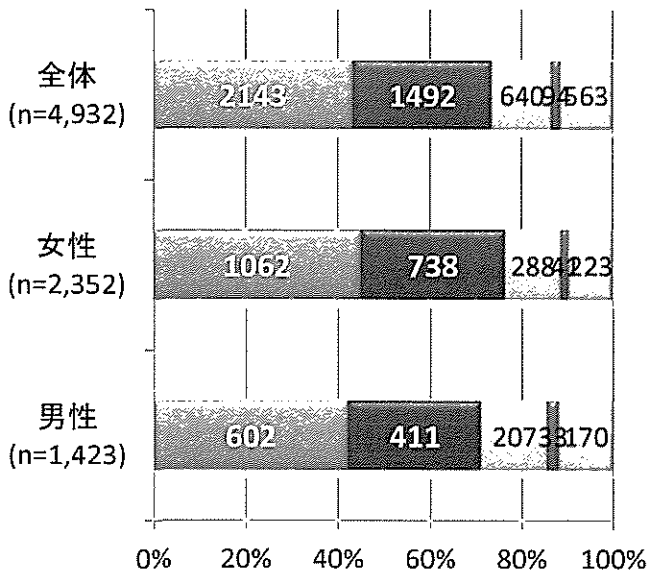


- 病院内における“がん経験者の交流の場”について、設置希望がある者は約75%で、参加希望がある者は60%であった。



◆設置希望 <性別>

◆参加希望 <性別>



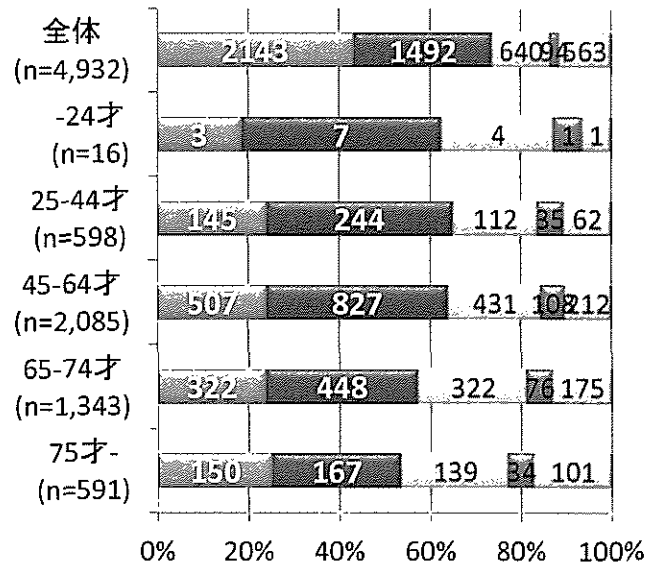
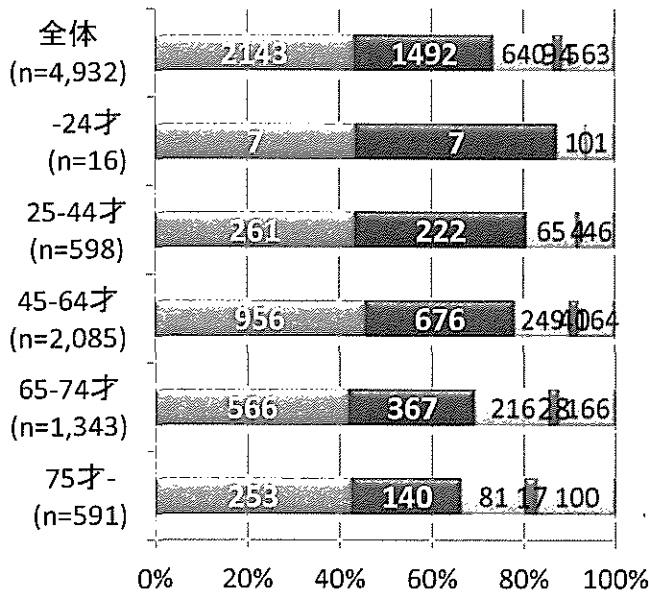
■ そう思う ■ ややそう思う □ あまり思わない □ 思わない □ 無回答



CANCER INSTITUTE HOSPITAL of JFCR  
Patient Support Center

◆設置希望 <年齢別>

◆参加希望 <年齢別>

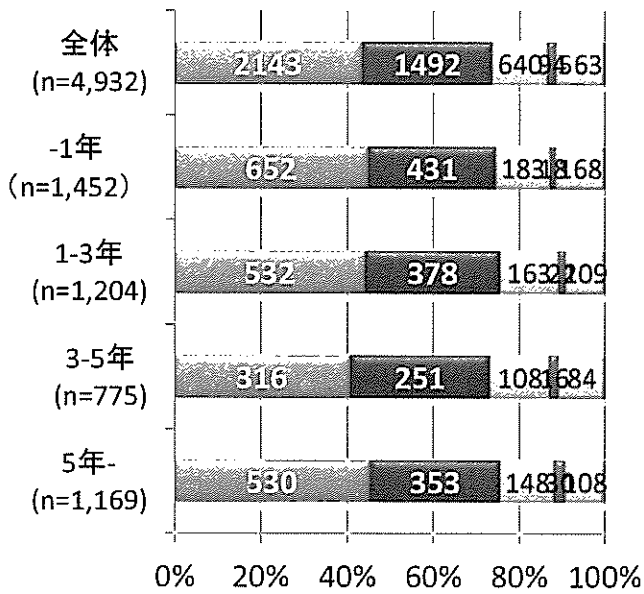


■ そう思う ■ ややそう思う □ あまり思わない □ 思わない □ 無回答

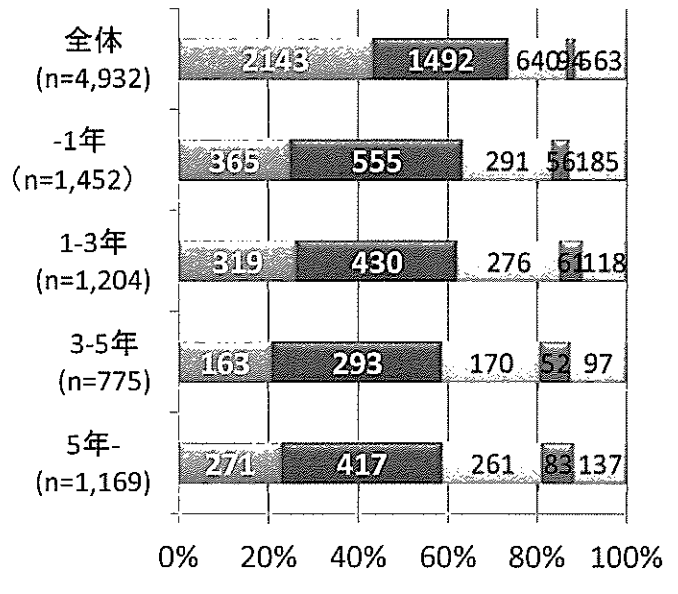


CANCER INSTITUTE HOSPITAL of JFCR  
Patient Support Center

◆設置希望 <通院期間別>



◆参加希望 <通院期間別>

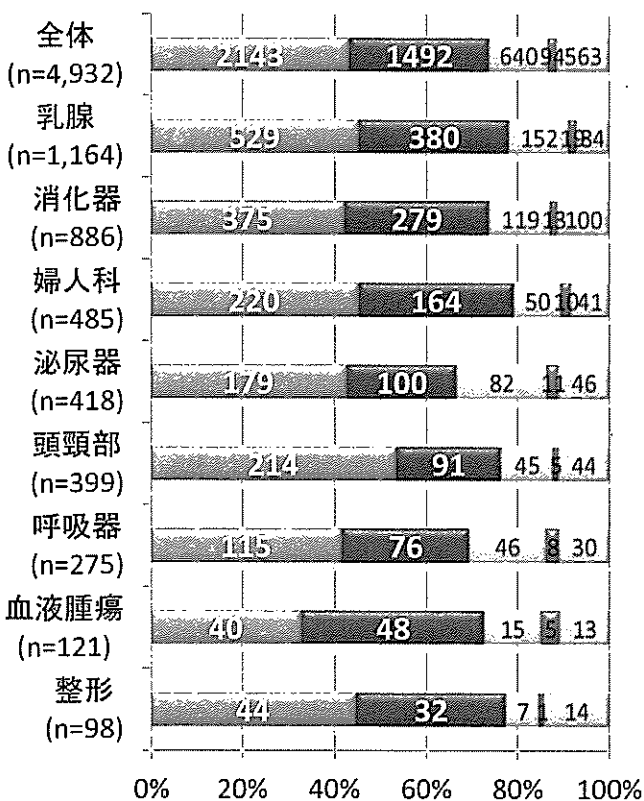


■ そう思う ■ ややそう思う □ あまり思わない ■ 思わない □ 無回答

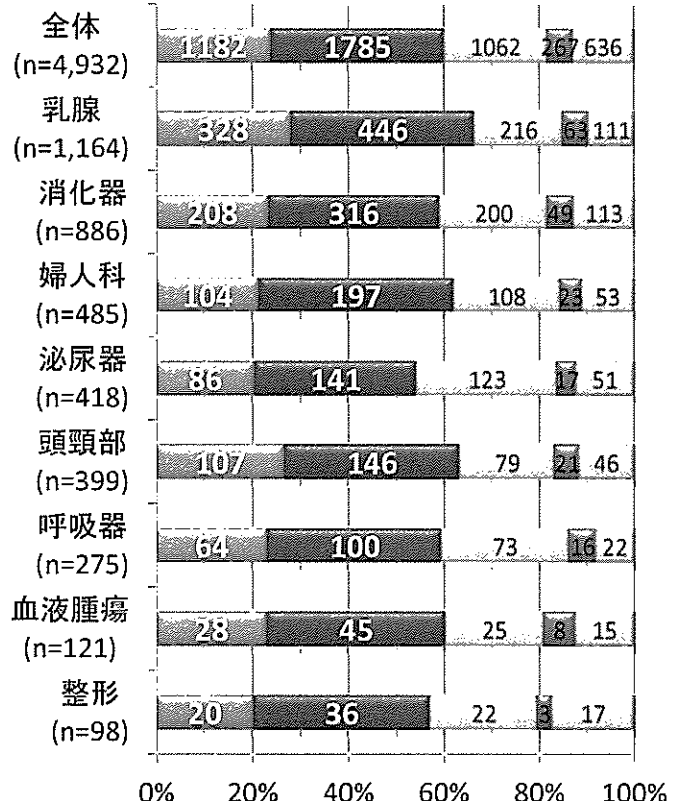


CANCER INSTITUTE HOSPITAL of JFCR  
Patient Support Center

◆設置希望 <がん腫別>



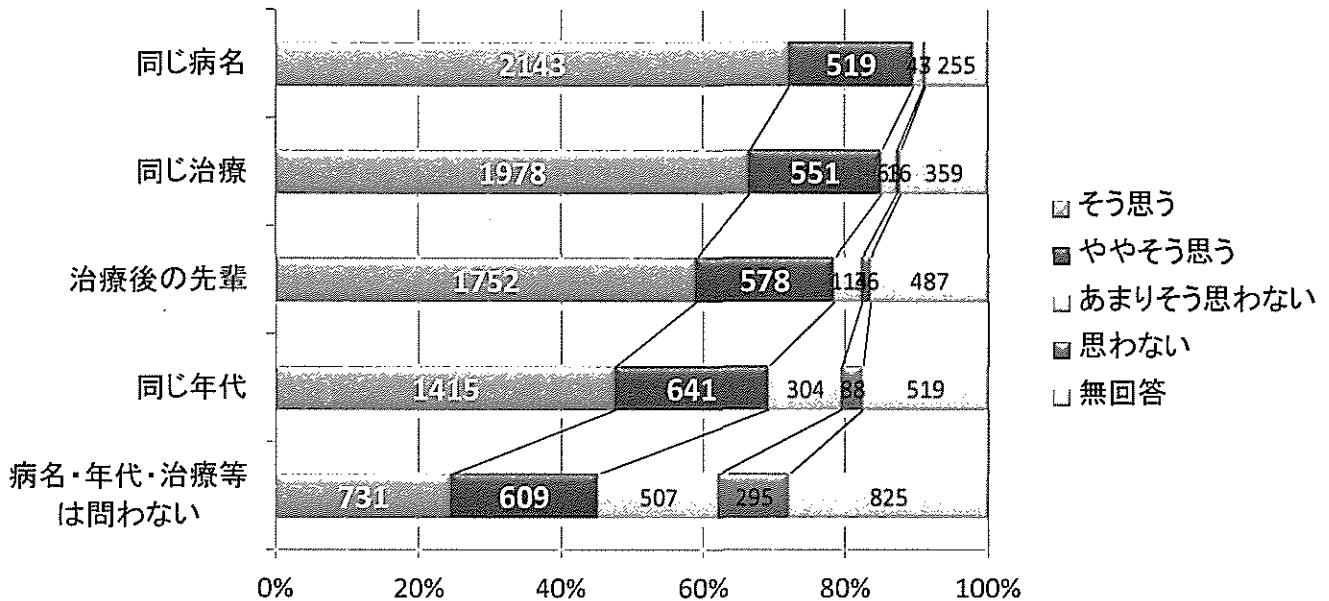
◆参加希望 <がん腫別> 10



■ そう思う ■ ややそう思う □ あまり思わない ■ 思わない □ 無回答

# 希望する“がん経験者の交流の場”のタイプ

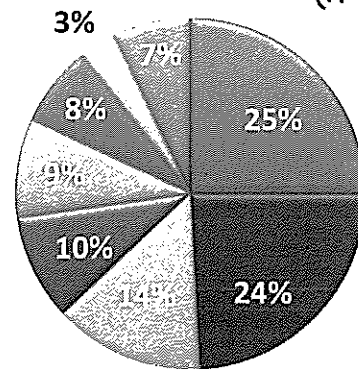
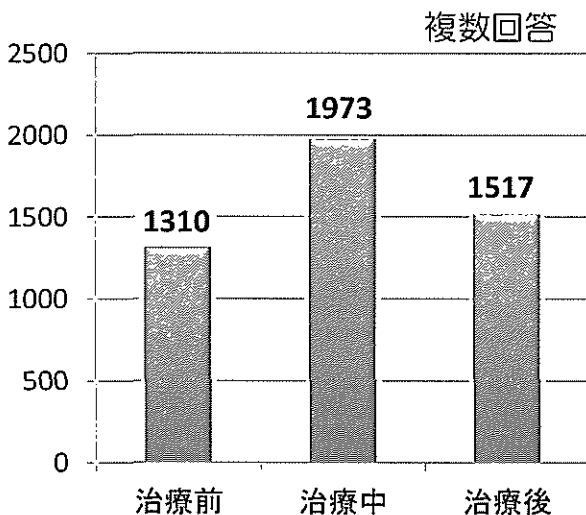
## ◆ どのようながん経験者との交流を希望するか (n=2,967)



● 「同じ病名」「同じ治療」「治療後の先輩」「同じ年代」の順に多かった。

## ◆ どのような時期にがん経験者との交流を希望するか

(n=2,967)



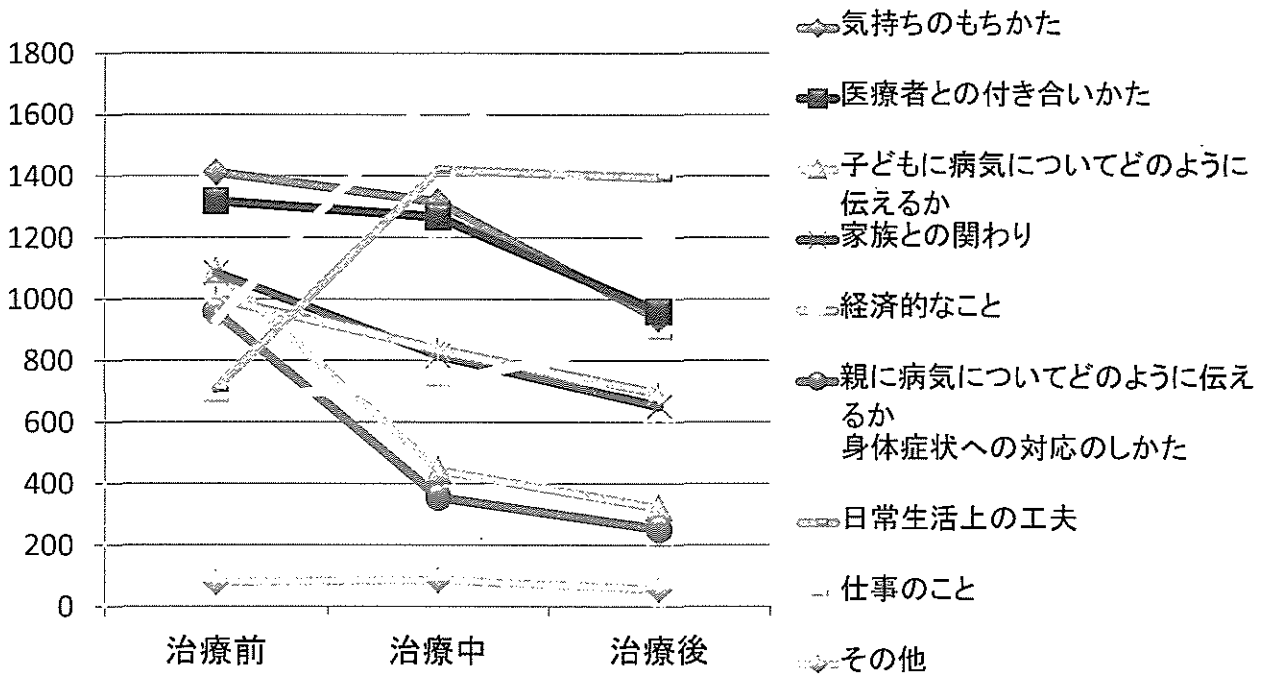
- 治療中
- 治療前中後
- 治療後
- 治療中後
- 治療前
- 治療前中
- 治療前後
- 無回答

● がん経験者との交流を希望する時期は、「治療中」「治療後」「治療前」の順に多かった。

● 「治療中」「治療前・中・後」「治療後」「治療中・後」の順に多かった。



◆ 各時期にがん経験者同士で話してみたいこと (n=2,967) 13



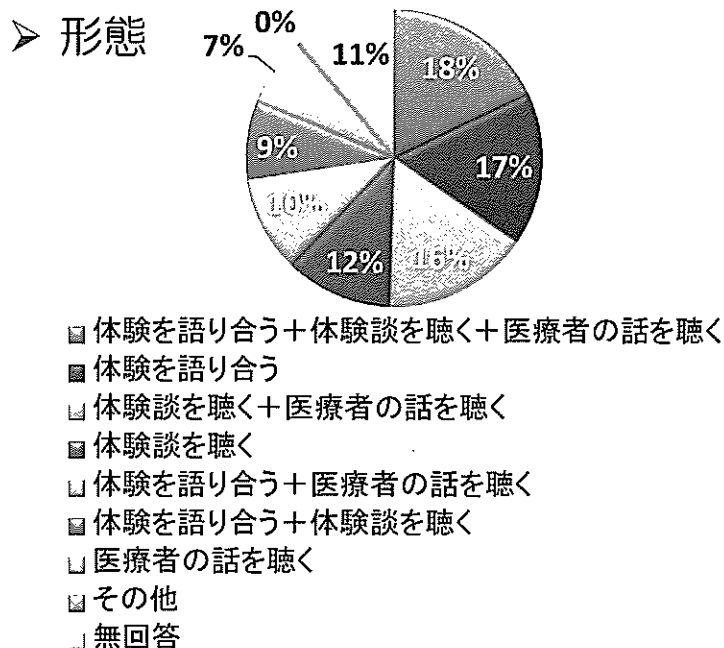
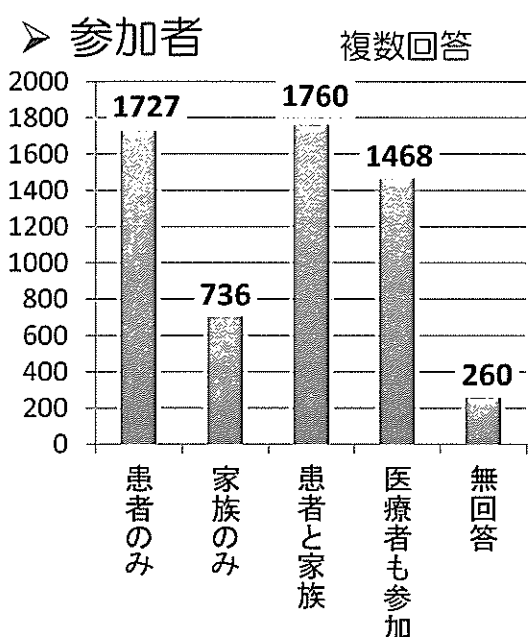
- 治療前 > 治療中 > 治療後：「気持ちのもちかた」「医療者との付き合いかた」「子どもに病気についてどのように伝えるか」「家族との関わり」「経済的なこと」「親に病気についてどのように伝えるか」「身体症状への対応のしかた」
- 治療前 < 治療中 < 治療後：「日常生活上の工夫」「仕事のこと」

◆ 各時期にがん経験者同士で話してみたいこと (n=2,967) 14

項目	治療前	治療中	治療後
・ 気持ちのもちかた	第1位	第3位	第4位
・ 医療者との付き合いかた	第2位	第4位	第3位
・ 子どもに病気についてどのように伝えるか	第3位	第8位	第8位
・ 家族との関わり	第4位	第6位	第7位
・ 経済的なこと	第5位	第5位	第6位
・ 親に病気についてどのように伝えるか	第6位	第9位	第9位
・ 身体症状への対応のしかた	第7位	第1位	第2位
・ 日常生活上の工夫	第8位	第2位	第1位
・ 仕事のこと	第9位	第7位	第5位

- 「気持ちのもちかた」「医療者との付き合いかた」は、すべての時期を通して上位だった。
- 「子どもに病気についてどのように伝えるか」は、治療前には上位だったが、治療中・治療後は下位だった。
- 「身体症状への対応のしかた」「日常生活上の工夫」は、治療前には下位だったが、治療中・治療後は上位だった。

◆ どのような"がん経験者の交流の場"を希望するか(n=2,967) <sup>15</sup>



- 「患者のみ」「患者と家族」「医療者も参加」の順に多かった。
- 「語り合う+体験談を聴く+医療者の話を聴く」「語り合う」「体験談を聴く+医療者の話を聴く」の順に多かった。

## まとめ<中間報告>

16

- ◆ "がん経験者の交流の場"の参加経験がある者は約10%で、「患者のみのグループ」への参加経験が多かった。
- ◆ 病院内における"がん経験者の交流の場"について、設置希望に比較すると、参加希望は少ない傾向があった。
- ◆ がん経験者との交流の時期は、「治療中」「治療前・中・後」を希望する者が多かった。
- ◆ がん経験者同士で話してみたいことは、治療・中・後の各時期で変化していた。
- ◆ "がん経験者の交流の場"の参加者について、「患者のみ」「患者と家族」「医療者も参加」を希望する者が多かった。
- ◆ "がん経験者の交流の場"の形態について、「体験を語り合う+体験談を聴く+医療者の話を聴く」「体験を語り合う」「体験談を聴く+医療者の話を聴く」を希望する者が多かった。

